

漁業・畜産担い手対策

新規就業者

産業体験

今年4月より、新規就業を目指し、1年間の産業体験中の2名のUターン者にお話を伺いました。

目指すは：島一番の生産者

いわがき養殖



岡山県からUターン
平木 欧介さん (20)
趣味：魚釣り、ゲーム

中学校2年生の時、職場体験学習があった。幼い頃から海が好きだったので海に関わる職業を探し、栽培センターでのいわがきの養殖がおもしろそうだったので迷わずそこを希望した。

隠岐島前高校進学後も、海に関わる仕事がしたいという気持ちは変わらず、進路先を先生に相談したところ、岡山理科大学専門学校で水生動物の生態や養殖業に関する知識や技術を学べることを教わり、高校卒業後の進路先に決めた。

西ノ島町でしかできない仕事

専門学校在学中も休みになれば帰省し、趣味である釣りを楽しんだ。その最中、卒業後の就職先について、両親に相談したところ、職場で指導を受けながら養殖の知識

や技術を学べる産業体験制度を調べてくれた。しかし父は「まだ若いしすぐに帰らなくとも、もっと都会での生活を楽しんでからでもいいんだよ」と言ってくれたが、中学の頃からやりたかった仕事、そしてそれはここ(西ノ島町)でしかできない仕事だと思い、早く現場でその技術や知識を学びたかったので、専門学校卒業後すぐに西ノ島町へUターンし働くことにした。

早く慣れる、わからないことは聞く

今はいわがきの出荷シーズンで、毎日海から揚げたいわがきを、ひとつひとつバラし、貝の周りについているフジツボなどを取り除き、「磨き」という作業をしている。バラす作業はおもしろいが「磨き」はまだまだ慣れず、ひとつひとつに時間がかかってしまう。早く慣れて、ひとつでも多くのいわがきを出荷できるようになりたい。

体験期間中の今は、作業に慣れること、わからないことはとにかく聞いて身につけることを心掛けています。そして将来は独立し、さらにもっとたくさんさんの経験を積んで「島一番の生産者」になることを目標としています。

私たちのような小漁師は安定はしていないし、横着や手を抜くとちゃんとした商品もできない。しかし、やる気と根気を持つこと、そして、もしトラブル等があった時もケアをきっちりすれば、成功する仕事である。

平木くんは性格はのんびりしているが(笑)、素質があり、作業も上手い。いつか独立するという目標を持ってやってほしい。まだ若いから、都会の飲食店へ営業で出向いたり、ネットを使った販路開拓もできるんじゃないかな。



平木さんの体験受入先
奥板 和則さん

牛も人もストレスのない畜産

畜産農家

祖母の故郷「西ノ島町」



兵庫県からUターン
世良 哲也さん (40)
趣味：バイク、魚釣り、お酒

出身は兵庫県神戸市。大学卒業後、商社で営業職や生産管理の仕事をしてきたが、今年4月、畜産での新規就業を目指し、西ノ島町へUターンとして移住した。

西ノ島町は、祖母の故郷であり、親戚もいる。20代の頃から毎年お盆の時期になると西ノ島町へ遊びに来ており、いつかここで生活がしたいと思っていたのが、いま実現している。

まず移住先を決めた。次は仕事！

生まれてから一度も神戸を離れたことがなく、38歳くらいの頃、当時勤めていた仕事は一生できる仕事ではないと感じ、独立してなにかやりたいと考えるようになった。だったら祖母の故郷である西ノ島町なら土地勘もあるし、いつか暮らしたいと思っていた場所。仕事を辞めて、ここへ移住しようと思った。

となれば、西ノ島町で独立してできる仕事を決めなければならぬ。以前から畜産には興味があったので、大阪で開催された就農フェスタで、島根県の方を通じて西ノ島町の畜産担当者の方を紹介してもらい、移住そして畜産のことを相談した。しかし、神戸からの移住、そして独立は、やはり迷うことも悩むこともあった。

決め手は「手放すものはなにもない」

移住と畜産での新規就業は、これまでに

長く住んできた神戸とは環境も仕事も大きく変化している。しかし、友達をなくすわけはないし、収入は、いったん減るかもしれないが取り戻せばいい。そんな風に考えていたら、手放すものや失うものがほとんどないことに気づいた。これが移住と畜産での新規就業の決意の引き金となった。

牛も人もストレスのない畜産

就業体験をはじめ3ヶ月。仕事はもちろん楽しい。この仕事をやりながら、もっと省力化や省人化できないか、牛の糞の臭いがないようにするにはどうしたらいいかなど、もつといい方法はなかったが考えながら仕事ができることが今は楽しい。仕事は大変ではあるが、島のゆつくりと流れる時間のおかげか、これまで都会で働いている時のような大変さは感じなくなっている。

今の目標は、独立し、人を雇ってやっていきたい。若い人、高齢の人、長期でも短期でも、一緒に畜産をやっている人がいたらいいと思う。そして、牛も人もストレスのない畜産を目指していきたい。またプライベートでは、もつと西ノ島町の人と交流できるきっかけや場所を作って、島の友人や知り合いが増えたらいいなと思っている。

世良くんがきて3ヶ月経つが、よくやってくれている。もう一通りのことはマスターしている。

牛飼いは素質はいらぬ。牛が好きであることが第一。好きであるからこそ、きつい仕事も汚い仕事もできるようになる。牛の扱いはもう慣れるから大丈夫！



世良さんの体験受入先
平井 信利さん



▲ 贈呈式の様子



▲ 法務局西郷支局長のお話を聞く児童



▲ 西ノ島小学校3年生のみなさんと記念撮影

5/26

「人権の花運動」種苗贈呈式

優しさと思いやりの心の育成

5月26日、西ノ島小学校において、「人権の花運動」の種苗贈呈式を行いました。人権の花運動は、花の種苗を子どもたちが協力して育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的とした啓発活動です。

松江地方法務局西郷支局長の挨拶のあと、人権擁護委員より児童代表へミニマわり、ほうせんか、サルビアの種などが手渡されました。

CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION

POLICE 通信

浦郷警察署 6-0121

水難防止のポイント

- ▶ 体調を整えて、事前に行き先地の天候などは確認しておきましょう！
- ▶ 水に入る前に「危険な箇所」がないか確認しましょう！
- ▶ ライフジャケットなどの安全装備は、確実に身につけましょう！
- ▶ 子供から絶対に目を離さないようにしましょう！

こんにちは！浦郷警察署です。
今月は水難・山岳遭難防止のポイントについてお話します。

山岳遭難防止のポイント

- ▶ 単独での行動はできるだけ避けて、複数人で行動しましょう！
- ▶ 何かあれば、携帯電話から110番しましょう！
- ▶ 万一に備え、水や食料・雨具や照明等の装備品を準備しましょう！
- ▶ 無理のない計画を立てましょう！

!

昨年は管内で山岳遭難が発生しています！
もしもの時のため、しっかり準備をして、
安全なレジャーにしてください！

CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION
CAUTION